

第16章 災害・消防・警察・海上保安

1	災 害	363
16-1	令和6年中の台風・大雨等による被害状況	364
16-2	市町村別台風・大雨等による被害状況	364
16-3	年次別台風・大雨等被害状況	365
2	消 防	366
(1)	火災発生状況	
(2)	消 防 現 勢	
16-4	市町村別の火災発生状況	367
16-5	月別火災発生状況	367
16-6	原因別火災発生状況	368
16-7	大火災発生状況（損害額2,000万円以上）	368
16-8	消 防 現 勢	368
3	警 察	369
(1)	交通事故発生状況	
(2)	刑法犯発生状況	
16-9	市町村別交通事故発生状況	370
16-10	刑法犯市町村別発生状況	371
4	海 上 保 安	372
16-11	機動力（巡視船艇等）	372
16-12	法令違反別送致件数	373
16-13	海難の発生状況（海上における事故）	373
16-14	関係団体等	373
16-15	奄美海上保安部が管理する航路標識の市町村別設置状況	374

1 災 害

令和6年は、4・5・6・11月に大雨、8・9月に台風10・13・14号が奄美地方へ接近し、昨年につき被害が発生した。被害額については、1,268,641千円となり、項目別では、農林水産被害450,187千円（同35.4%）で最も多く、次いで、公共土木施設被害が410,877千円（被害総額の32.4%）、農林水産業施設被害217,515千円（同17.1%）となっている。

16-1 令和6年中の台風・大雨等による被害状況 (数値は市町村の報告による)

期 間	台 風 大雨等	人的被害(人)		住 家 被 害 (棟)					非住家 被 害 (棟)
		死 亡 不 明	負 傷	全 壊	半 壊	一 部 破 損	床 上 浸 水	床 下 浸 水	
6. 4.15 ~ 6. 4.17	大 雨								
6. 5.22	大 雨								
6. 5.27	大 雨								
6. 6.13	大 雨							2	
6. 6.15	大 雨				1				
6. 8.26	台 風 10 号		1		11	280			294
6. 9.13	台 風 13 号				2	96		2	34
6. 9.18	台 風 14 号					1			
6.10.22	大 雨								
6.10.25	大 雨								
6.11. 8~6,11,9	大 雨				44	217	45	78	138
合 計		0	1	0	58	594	45	82	466

16-2 市町村別台風・大雨等による被害状況 (数値は市町村の報告による)

資料：大島支庁総務企画課
 期間：令和6年1月～令和6年12月
 単位：千円

区分 市町村名	人的被害 (人)	農林水産業 施 設	公共土木 施 設	その他の 公共施設	農林水産 被 害	その他	合 計
奄 美 市	1	9,536	50,853	69,904	0	10,000	140,293
大 和 村		0	129,594	0	45	0	129,639
宇 検 村		0	0	0	0	0	0
瀬 戸 内 町		19,073	33,902	3,498	1,901	0	58,374
龍 郷 町		0	0	0	0	0	0
喜 界 町		65,170	43,765	0	316,006	0	424,941
徳 之 島 町		0	0	0	0	0	0
天 城 町		73,634	57,052	480	4,125	0	135,291
伊 仙 町		20,625	74,261	0	0	0	94,886
和 泊 町		7,997	21,450	0	2,937	0	32,384
知 名 町		0	0	0	10,856	0	10,856
与 論 町		21,480	0	0	114,317	106,180	241,977
合 計	1	217,515	410,877	73,882	450,187	116,180	1,268,641

資料：大島支庁総務企画課
 期間：令和6年1月～令和6年12月

被 害 金 額(単位:千円)										備 考 被害地域等
農 林 水産業 施 設	公 共 土 木 施 設	その他 の公 共 施 設	農 産 被 害	林産 被害	畜産 被害	水産 被害	商工 被害	その他	計	
3,049	21,450	480	131						25,110	奄美南部
	16,142								16,142	奄美北部
	52,026								52,026	奄美北部
	5,310								5,310	奄美南部
112,460	131,313			4,125					247,898	奄美全域
73,640	43,765	64,211	317,952						499,568	奄美北部
1,938	82,896	9,191						10,000	104,025	奄美北部
3,000			10,725						13,725	奄美南部
	28,592								28,592	奄美北部
	29,383								29,383	奄美北部
23,428			117,254				106,180		246,862	奄美南部
217,515	410,877	73,882	446,062	4,125	0	0	106,180	10,000	1,268,641	

16-3 年次別台風・大雨等被害状況 (数値は市町村の報告による)

資料：大島支庁総務企画課
 期間：各年1月～12月
 単位：千円

区分 年次	農林水産業 施 設	公 共 土 木 施 設	その他の 公 共 施 設	農 林 水 産 被 害	そ の 他	合 計
平成 23	1,062,056	1,547,635	500,010	2,052,668	766,042	5,928,411
24	1,453,380	2,722,122	604,918	2,339,458	614,400	7,734,278
25	261,886	32,450	74,813	363,302	155,350	887,801
26	15,141	166,968	24,805	785,791	39,995	1,032,700
27	6,108	29,714	4,608	285,675	0	326,105
28	15,707	19,172	0	28,944	0	63,823
29	123,580	86,646	8,932	771,286	26,730	1,017,174
30	681,963	620,697	227,411	2,548,637	180,219	4,258,927
令和 元	16,846	128,227	0	2,304	0	147,377
2	26,281	207,922	13,256	387,950	1,300	636,709
3	61,123	0	0	711	0	61,834
4	0	0	0	0	38,497	38,497
5	108,348	1,133,808	1,404	127,441	29,409	1,400,410
6	217,515	410,877	73,882	450,187	116,180	1,268,641

2 消 防

(1) 火災発生状況

令和5年中の火災発生件数は55件で、前年に比べ26件の増加であり、6.6日に1件の割合で火災が発生したことになる。

市町村別では、天城町が10件（奄美群島全火災の18.2%）で最も多く、次いで、奄美市が9件、和泊町が7件、瀬戸内町・伊仙町が各5件、喜界町・徳之島町が各4件、龍郷町・知名町・与論町が各3件、大和村・宇検村が各1件の順となっている。

人口（令和5年1月1日住民基本台帳による）1万人当たりの出火件数を表す出火率では、天城町の17.9が最も高く、次いで和泊町の11.1、伊仙町の7.9の順となっている。

火災種別にみると、「建物」火災が25件（奄美群島全火災の45.5%）で、前年に比べ10件の増加、「車両」火災は7件（同12.7%）で、前年に比べ1件の増加、「林野」火災、「船舶」火災、「航空機」火災は前年と同じく0件、「その他」火災（田畑の野焼き等の火災）が23件（同41.8%）で、前年と比べ15件の増加となっている。

火災による死者は3人で、前年に比べ3人の増加である。また、負傷者は前年と同じく4人となっている。

焼損棟数は38棟で前年に比べ19棟の増加、り災世帯数は22世帯で前年に比べ11世帯の増加、り災人員は41人で前年に比べ23人の増加となっている。

損害額は124,866千円で、前年に比べ86,001千円の増加で、火災1件当たり約2,270千円、1日当たり約342千円が灰になったことになる。

損害額2千万円以上の大きな火災は、和泊町で1件、徳之島町で1件発生した。

出火原因では、「たき火」が8件（奄美群島全火災の14.6%）で最も多く、次いで「火入れ」が6件（同10.9%）、「マッチ・ライター」が3件（同5.5%）の順となっている。

(2) 消 防 現 勢

消防本部数は令和5年4月1日現在で前年と変わらず3本部となっている。消防職員数については251人で前年に比べ1人減少し、条例定員に対する充足率は、100%である。

また、消防吏員251人の平均年齢は37歳となっている。

消防団数は12団、消防分団数は91分団である。消防団員は、1,463人で前年に比べ15人増加し、平均年齢は43.7歳で条例定員に対する充足率は86.8%となっている。

各消防本部が管理する消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ等の消防機械のうち、消防ポンプ自動車の充足率は100%（令和4年4月1日時点：消防力の整備指針に基づき3年に1度決定）となっており、令和5年4月1日時点の救急自動車の所有台数は前年と同数で21台となっている。

また、火災鎮圧のため必要不可欠な消防水利については、令和4年4月1日時点（消防力の整備指針に基づき3年に1度決定）で充足率67.6%となっている。

消防ポンプ自動車及び消防水利充足率の県平均は、消防ポンプ自動車が103.8%、消防水利が50.7%であり、消防ポンプ自動車充足率は県平均を下回っているが、消防水利充足率は県平均を上回っている。

16-4 市町村別の火災発生状況

資料：鹿児島県消防保安課
期間：令和5年1月～12月

市町村名	出火件数							損害額(千円)								
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発	
大島地区	奄美市	9	3	-	2	-	-	4	8,814	8,538	-	258	-	-	18	-
	大和村	1	1	-	-	-	-	-	25	25	-	-	-	-	-	-
	宇検村	1	-	-	1	-	-	-	15	-	-	15	-	-	-	-
	瀬戸内町	5	3	-	-	-	-	2	3,350	3,350	-	-	-	-	-	-
	龍郷町	3	1	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-
	喜界町	4	1	-	-	-	-	3	3,371	3,129	-	-	-	-	242	-
	計	23	9	-	3	-	-	11	15,576	15,043	-	273	-	-	260	-
徳之島	徳之島町	4	3	-	-	-	-	1	32,692	32,616	-	-	-	-	76	-
	天城町	10	7	-	-	-	-	3	19,474	19,407	-	-	-	-	67	-
	伊仙町	5	1	-	2	-	-	2	1,542	790	-	750	-	-	2	-
	計	19	11	-	2	-	-	6	53,708	52,813	-	750	-	-	145	-
沖与論	和泊町	7	4	-	1	-	-	2	54,493	6,440	-	246	-	-	47,807	-
	知名町	3	1	-	-	-	-	2	1,054	932	-	-	-	-	122	-
	与論町	3	-	-	1	-	-	2	35	-	-	35	-	-	-	-
	計	13	5	-	2	-	-	6	55,582	7,372	-	281	-	-	47,929	-
合計	55	25	-	7	-	-	23	124,866	75,228	-	1,304	-	-	48,334	-	
令和4年	29	15	-	6	-	-	8	38,865	36,009	-	959	-	-	1,897	-	
比較	26	10	-	1	-	-	15	86,001	39,219	-	345	-	-	46,437	-	

市町村名	焼損棟数					り災世帯数				り災人員	死傷者		損害面積		1件当たりの損害額(千円)	
	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損		死者	負傷者	建物床面(m ²)	林野(a)		
大島地区	奄美市	5	2	1	1	1	2	-	1	1	3	-	1	178	-	979
	大和村	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34	-	25
	宇検村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
	瀬戸内町	7	5	-	-	2	4	2	-	2	6	1	-	335	-	670
	龍郷町	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3
	喜界町	4	2	-	-	2	1	-	-	1	5	-	-	235	-	843
	計	18	10	1	1	6	7	2	1	4	14	1	1	782	-	677
徳之島	徳之島町	4	3	-	1	-	4	3	-	1	13	-	2	252	-	8,173
	天城町	10	6	-	2	2	6	3	-	3	9	-	-	471	-	1,947
	伊仙町	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	141	-	308
	計	15	10	-	3	2	10	6	-	4	22	-	3	864	-	2,827
沖与論	和泊町	4	3	-	1	-	4	3	-	1	4	2	-	482	-	7,785
	知名町	1	1	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	124	-	351
	与論町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
	計	5	4	-	1	-	5	4	-	1	5	2	-	606	-	4,276
合計	38	24	1	5	8	22	12	1	9	41	3	4	2,252	-	2,270	
令和4年	19	9	-	7	3	11	5	-	6	18	-	4	784	-	1,340	
比較	19	15	1	△2	5	11	7	1	3	23	3	-	1,468	-	930	

(注) 火災種別が2以上複合する火災は、焼き損害額の大なるものの種別に計上。

16-5 月別火災発生状況

資料：鹿児島県消防保安課
期間：令和5年1月～12月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件数	1	6	8	7	6	-	5	3	3	6	7	3	55
前年件数	5	2	3	4	-	-	2	3	1	4	2	3	29
増減数	△4	4	5	3	6	-	3	-	2	2	5	-	26

16-6 原因別火災発生状況

資料：鹿児島県消防保安課
 期間：令和5年1月～12月

順位	(1)	(5)	(2)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	-	(3)	-	(5)	(4)	(5)	-	-	-	-	-	
	たき火	放火の疑い	火入れ	たばこ	電灯電話等の配線	こたつ	配線器具	こんろ	風呂かまど	排気管	マッチ・ライター	ストーブ	交通機関内配線	内燃機関	火遊び	放火	溶接機・切断機	その他	不明・調査中	計	
件数	8	1	6	1	1	1	1	1	1	-	3	-	1	2	1	-	-	-	7	20	55
前年件数	1	-	-	1	1	-	1	2	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	4	14	29
前年順位	(3)	-	-	(3)	(3)	-	-	(2)	(3)	(1)	(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
増減数	7	1	6	-	-	1	-	△1	-	△3	2	-	1	2	1	-	-	-	3	6	26

16-7 大火災発生状況（損害額2,000万円以上）

資料：鹿児島県消防保安課
 期間：令和5年1月～12月

出火月日	出火時刻	市町村名	火元の用途	原因	焼損棟数	り災世帯	り災人員	死者	負傷者	焼損床面積(m ²)	損害額(千円)
10月31日	17:15	和泊町	-	不明	0	0	0	0	0	-	47,716
12月10日	不明	徳之島町	住宅	不明	1	2	9	0	0	89	21,521

16-8 消防現勢

資料：鹿児島県消防保安課
 期日：令和5年4月1日

区分	消防団(消防本部)		消防団(職員)			消防ポンプ等							消防水利							
	団数	分団数	条数	現員	平均年齢	自消防自動車	ポンプ自動車	水消し自動車	は積自動車	小型ポンプ自動車	動力ポンプ自動車	カブセル	救急自動車	その他	ポンプ自動車充足率	消火栓	防火用水	その他	充足率	
市町村名																				
奄美市	1	16	452	379	46.6	10	1	-	41	1	-	3	-	464	141	28	-	-	-	
大和村	1	5	52	48	40.2	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	28	9	-	-	
宇検村	1	6	92	86	43.8	1	1	-	7	1	-	3	-	6	31	2	-	-	-	
瀬戸内町	1	6	155	113	49.7	1	1	-	12	13	-	1	-	65	65	4	-	-	-	
龍郷町	1	4	153	139	42.6	2	2	-	10	2	-	-	-	47	77	5	-	-	-	
喜界町	1	9	130	107	42.8	2	1	-	6	1	-	4	-	131	127	4	-	-	-	
大島地区消防組合	1	-	161	161	38.3	2	5	2	1	-	13	11	100	-	-	-	-	-	64.7	
徳之島町	1	11	161	153	42.0	3	-	-	13	-	-	1	-	29	92	11	-	-	-	
天城町	1	3	80	79	41.9	-	-	-	1	1	-	1	-	56	59	18	-	-	-	
伊仙町	1	8	74	71	43.9	-	1	-	-	-	-	3	-	31	52	-	-	-	-	
徳之島地区消防組合	1	-	49	50	34.9	-	3	-	-	-	-	4	1	100	-	-	-	-	76.9	
和泊町	1	7	120	99	40.1	2	7	-	1	-	-	3	-	121	80	95	-	-	-	
知名町	1	13	145	126	38.7	1	8	-	6	2	-	-	-	126	128	4	-	-	-	
与論町	1	3	72	63	42.6	1	4	-	-	-	-	3	-	64	76	-	-	-	-	
沖永良部与論地区	1	-	41	40	34.6	-	2	-	-	-	-	4	3	100	-	-	-	-	69.3	
広域事務組合	(本部3)	-	251	251	37.0	2	10	2	1	-	21	15	100	-	-	-	-	-	67.6	
計	団12	91	1,686	1,463	43.7	23	26	-	107	21	-	22	-	1,140	956	180	-	-	-	

(注) 1 消防職員の平均年齢は消防吏員の平均である。
 2 救急自動車は令和5年4月1日時点の数値、ポンプ自動車充足率及び消防水利充足率は、令和4年4月1日時点の数値である。

3 警 察

(1) 交通事故発生状況

令和6年の交通人身事故発生件数は、78件で前年より38件減少した。

交通事故による死者は、8人で、前年より4人増加し、傷者については81人で43人減少した。

件数を市町村別にみると、奄美群島で件数の最も多いのは奄美市の35件（全体の44.9%）で、次いで龍郷町の10件（同12.8%）となっている。

また、島別に件数の割合をみると、奄美大島が47件（全体の60.3%）、喜界島が3件（同3.8%）、徳之島が17件（同21.8%）、沖永良部島が8件（同10.3%）、与論島が3件（同3.8%）となっている。

死者は、奄美市2人、龍郷町1人、徳之島町1人、天城町1人、伊仙町1人、和泊町1人、与論町1人の合計8人となっている。

(2) 刑法犯発生状況

令和5年の刑法犯の総認知件数は、410件で前年に比べ147件の増加となっている。

市町村別にみると件数が最も多いのが、奄美市の175件（全体の42.7%）で前年と比べると73件の増加、次いで徳之島町の59件（14.4%）で24件の増加となっている。

罪種別にみると、窃盗犯が198件で全体の48.3%を占めている。

なお、検挙件数は179件となっている。

16-9 市町村別交通事故発生状況

期間：令和6年1月～12月
 単位：人，件，台数

区分 市町村名	人口	件数 (人身)	死者	傷者	前年比増減			自動車保有車両数			人口1万人 当たりの 死傷者数
					件数 (人数)	死者	傷者	貨物・乗合・乗用・特 種用途・二輪数	軽自動車数	合計	
総数	98,106	78	8	81	-38	4	-43	27,370	60,099	87,469	9.1
奄美大島	55,601	47	3	50	-18	1	-18	15,273	29,210	44,483	9.5
奄美市	39,118	35	2	38	-10	0	-8	10,436	20,075	30,511	10.2
大和村	1,316	0	0	0	0	0	0	482	788	1,270	0.0
宇検村	1,521	1	0	1	0	0	0	512	924	1,436	6.6
瀬戸内町	7,846	1	0	1	-5	0	-5	2,173	4,000	6,173	1.3
龍郷町	5,800	10	1	10	-3	1	-5	1,670	3,423	5,093	19.0
喜界島	6,073	3	0	4	-3	0	-3	1,467	4,338	5,805	6.6
喜界町	6,073	3	0	4	-3	0	-3	1,467	4,338	5,805	6.6
徳之島	20,319	17	3	17	-8	2	-7	6,366	15,950	22,316	9.8
徳之島町	9,454	9	1	11	-6	1	-4	2,717	6,674	9,391	12.7
天城町	5,145	6	1	5	1	1	0	1,874	4,466	6,340	11.7
伊仙町	5,720	2	1	1	-3	0	-3	1,775	4,810	6,585	3.5
沖永良部島	11,141	8	1	8	-10	0	-15	3,320	7,684	11,004	8.1
和泊町	5,806	6	1	5	-3	0	-7	1,876	3,978	5,854	10.3
知名町	5,335	2	0	3	-7	0	-8	1,444	3,706	5,150	5.6
与論島	4,972	3	1	2	1	1	0	944	2,917	3,861	6.0
与論町	4,972	3	1	2	1	1	0	944	2,917	3,861	6.0

- (注) 1 人口は令和6年10月1日現在推計人口（県統計課資料）
 2 件数，死者，傷者は令和6年12月末現在（県警察本部交通企画課）
 3 車両台数は令和6年3月末現在（第4章69ページ自動車保有車両数より）ただし，不明分，軽二輪は除く。
 4 奄美大島には，加計呂麻島，請島，与路島を含む。

16-10 刑法犯市町村別発生状況

資料：鹿児島県警察本部刑事企画課
 期間：令和5年1月～令和5年12月

市区町村	包括罪種		凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他の 刑法犯	総計	令和4年 の状況
奄美市	認知		1	27	80	20	4	43	175	102
	検挙		1	26	27	1	5	10	70	55
大和村	認知		0	0	0	0	0	1	1	0
	検挙		0	0	0	0	0	1	1	0
宇検村	認知		0	0	3	1	0	0	4	3
	検挙		0	0	0	0	0	0	0	2
瀬戸内町	認知		0	4	14	3	0	9	30	27
	検挙		0	5	9	0	1	7	22	13
龍郷町	認知		0	2	9	0	0	3	14	16
	検挙		0	3	4	0	0	1	8	8
喜界町	認知		0	10	10	0	0	2	22	14
	検挙		0	6	3	0	0	1	10	9
徳之島町	認知		0	10	33	3	0	13	59	35
	検挙		0	10	10	0	0	6	26	23
天城町	認知		2	3	14	2	0	5	26	14
	検挙		1	2	0	1	0	0	4	9
伊仙町	認知		0	10	11	0	0	4	25	9
	検挙		0	8	4	2	0	0	14	2
和泊町	認知		0	3	14	3	1	6	27	19
	検挙		0	3	6	1	1	1	12	5
知名町	認知		0	4	9	2	0	5	20	16
	検挙		0	3	4	0	0	1	8	12
与論町	認知		2	2	1	0	0	2	7	8
	検挙		1	2	0	0	0	1	4	3
総計	認知		5	75	198	34	5	93	410	263
	検挙		3	68	67	5	7	29	179	141

(注) 検挙件数については、発生地計上方式をとっている。

包括罪種の内訳

- 凶悪犯……殺人，強盗，放火，不同意性交等
- 粗暴犯……暴行，傷害，脅迫，恐喝，凶器準備集合
- 窃盗犯……窃盗
- 知能犯……詐欺，横領，偽造など
- 風俗犯……賭博，わいせつ，性的姿態撮影等処罰法
- その他の刑法犯……上記以外の刑法犯

4 海上保安

海上保安庁の事務所として奄美海上保安部（奄美市）及び古仁屋海上保安署（瀬戸内町）を置き、奄美群島地域における「安全・安心で美しい海」を守り、未来に引き継いでいくため、巡視船艇等により、海上における各種法令違反の取締り、領海警備、海難救助、海洋環境の保全活動、自然災害対応、急患搬送、海難防止活動、航路標識の管理等の交通施策などに取り組んでいる。

管轄する奄美群島地域は、南北約220km東西約300kmの広範な海域に及び、何れも外海に点在する島々からなるという地理的な特徴を持っていることから、迅速かつ円滑な業務の遂行のために、各市町村、警察、消防、漁業協同組合等の関係機関と連携を図っている。

令和5年の法令違反の送致件数は、18件であった。過去には大規模な密輸や密航事犯も発生していることから、沿岸域での不審情報の収集や巡視船艇による周辺海域のしょう戒を重点的に展開し、各種法令違反の取締りを強化している。

また、海の事件・事故を認めたときは、緊急通報用電話番号「118番」への通報を呼びかけている。

令和5年の海難の発生状況は、船舶事故が10隻で前年と同隻数、人身事故が24名で、前年に比べ5名減少した。海難への対応としては、直接の対応の他、水難救済会との連携した救助活動を、油排出事故等への対応としては奄美群島排出油等防除協議会と協力して防除活動を行っている。

奄美群島排出油等防除協議会は、6つの支部があり、各支部において地域の防除技術の向上を図るため、各種訓練及び講習会を行っている。また、「未来に残そう青い海」をスローガンに海洋環境保全を推進するため小中学生とともに海浜清掃活動や漂着ごみの分類調査等を行っている。

船舶事故を種類別に見ると乗揚が多い。原因別では、見張り不十分、船体機器整備不良などの人的ミスによるものが大半を占めているため、操船者の注意を促すための海難防止講習会等を実施している。特に、管内では漁船及びプレジャーボート等の小型船の海難の割合が高いことから、漁船海難防止については、奄美群島の各漁業協同組合や、漁船を直接訪問し、海難防止啓発を実施するなど、特に力を入れて取り組んでいる。

また、プレジャーボートの海難防止については、海上安全指導員（第十管区海上保安本部長が指定するプレジャーボートやマリンレジャー等の事故防止啓発活動を行うボランティアで、奄美群島では主任海上安全指導員1名を含む8名が指定）と協力して取り組んでいる。

人身事故については、マリンレジャー中の事故が多く、種類別では、遊泳中やスクーバダイビング中の事故割合が高く、遊泳を安全に行うための地域特性に関する知識不足やスクーバダイビングの知識・技能が不足していることが主な原因となっており、また、群島外からの観光客等による事故が増加している傾向にあることから、観光客等に安全啓発に係る情報提供を早く確実に行うため、各島の観光連盟（協会）、警察、消防、自治体、航空会社等と連携強化を図っているほか、リーフレットやステッカーを宿泊施設、レンタカー等、観光客が目につきやすいところへ掲示するなど、効果的な周知啓発に努めている。

名瀬港は特定港であり、奄美海上保安部長は港則法に基づき名瀬港長として、港内における海上工事や行事の許可、危険物荷役の許可等、船舶交通の安全及び港内の整とんを図るための業務を行っている。

船舶交通の安全確保と運行能率の向上を図るために重要な、灯台をはじめとする各種航路標識の管理・運用を行っており、管内で最も歴史の古い曾津高崎灯台（明治29年11月初点）を初めとする灯台27基、導灯5基・指向灯2基・照射灯1基の合計35基となっている。そのうち半数以上は太陽電池化及びLED化されている。

また、航海の安全確保、マリンレジャーでの事故の未然防止のために、灯台で観測した風向、風速、気圧などの局地的な気象、海象の状況、海上工事や行事の状況、海上模様が把握できるライブカメラなどの情報を、プレジャーボート、漁船等の船舶運航者やマリンレジャー愛好者に対して、「海の安全情報」としてパソコン、スマートフォン用サイトで提供しているほか、24時間体制で海上保安庁が発表する緊急情報等を、事前に登録されたメールアドレスに電子メールで配信するサービスの提供を行っている。

16-11 機動力（巡視船艇等）

資料：奄美海上保安部

期日：令和6年10月31日

船名	所属	総トン数	航行区域	就役年月
あまぎ	奄美海上保安部	1320	近海	平成22年3月
かいもん	奄美海上保安部	220	近海	平成16年4月
いそなみ	古仁屋海上保安署	105	近海	平成26年1月
ばるさあ	古仁屋海上保安署	4.7	沿海	平成8月3月

16-12 法令違反別送致件数

資料：奄美海上保安部
期日：令和6年10月31日
(件)

	海事関係法令	漁業関係法令	海上環境法令	刑法犯	その他の法令	合計
令和3年	15	1	2	2	2	22
令和4年	2	9	1	3	0	15
令和5年	1	5	3	4	5	18

16-13 海難の発生状況（海上における事故）

資料：奄美海上保安部

(ア) 船舶事故の隻数等の推移

年	項目	事故隻数（隻）	死亡・行方不明者数（人）
令和3年		11	0
令和4年		10	0
令和5年		10	0

(イ) 船舶事故の種類別内訳

(隻)

年	種類	衝突	乗揚	転覆	火災	浸水	機関故障	推進器障害	運航阻害	行方不明	その他	合計
令和3年		0	3	1	0	1	1	0	0	0	5	11
令和4年		0	4	0	0	0	3	3	0	0	0	10
令和5年		1	4	0	0	0	3	0	0	0	2	10

(ウ) 人身事故の人数の推移

(人)

年	項目	事故者数	死亡・行方不明者数
令和3年		26	12
令和4年		29	15
令和5年		24	11

(注) 死亡・行方不明者数は、事故者数の内数

(エ) 人身事故の種類別内訳

(人)

	船舶乗船中の人身事故				海浜事故				合計
	海中転落	負傷	病気	その他	遊泳中	スキューバダイビング中	釣り中	その他	
令和3年	2	0	2	0	10	2	1	9	26
令和4年	0	0	2	0	7	4	1	15	29
令和5年	0	1	1	0	7	1	2	12	24

16-14 関係団体等

(ア) 奄美群島排出油等防除協議会

資料：奄美海上保安部
期日：令和6年10月31日

支部名	参加機関団体数	支部名	参加機関団体数
奄美支部	29	瀬戸内支部	24
徳之島支部	17	沖永良部支部	18
与論支部	10	喜界支部	11

(イ) 奄美群島地区スキューバダイビング安全対策協議会

資料：奄美海上保安部
期日：令和6年10月31日

会長名	事業所名	加入団体数	設立年月
中田留弘	奄美ダイビングセンターとめ	36	平成元年4月

(ウ) 小型船交通安全協議会

資料：奄美海上保安部
期日：令和6年10月31日

組織の名称	会員数	設立年月日	主な活動海域
奄美地区小型船交通安全協議会	202名	昭和49年12月17日	奄美大島(奄美市名瀬)

(エ) 民間救助組織

資料：鹿児島県水難救済会
期日：令和6年12月10日

設立年月日	組織の名称	代表者	住 所	救 助 勢 力
平成7年1月31日	与論救難所	田畑 克夫	鹿児島県大島郡与論町茶花1418-1	人員 46名
平成9年1月30日	和泊救難所	前 登 志朗	鹿児島県大島郡和泊町和泊10	人員 25名
平成9年1月30日	知名救難所	今 井 力 夫	鹿児島県大島郡知名町知名1100	人員 40名
平成10年7月7日	喜界救難所	隅 崎 悦 男	鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地	人員 40名
平成11年8月12日	天城救難所	森 田 弘 光	鹿児島県大島郡天城町平土野 2691-1	人員 23名
平成12年11月1日	伊仙救難所	大 久 保 明	鹿児島県大島郡伊仙町伊仙1842	人員 103名
平成13年5月28日	龍郷救難所	竹 田 泰 典	鹿児島県大島郡龍郷町浦110	人員 86名
平成13年12月1日 (平成19年3月19日)	奄美市救難所 住用支所	安 田 壮 平	鹿児島県奄美市住用町大字西仲間 111	人員 30名
平成13年12月27日 (平成19年3月19日)	奄美市救難所 笠利支所	安 田 壮 平	鹿児島県奄美市笠利町大字中金久 141	人員 52名
平成14年1月1日	宇檢村救難所	元 山 公 知	鹿児島県大島郡宇檢村湯湾915	人員 137名
平成14年3月4日	大和救難所	伊 集 院 幼	鹿児島県大島郡大和村大和浜100	人員 115名
平成14年4月1日 (平成19年3月19日)	奄美市救難所 名瀬支所	安 田 壮 平	鹿児島県奄美市名瀬幸町25-8	人員 53名
平成14年4月1日	瀬戸内救難所	鎌 田 愛 人	鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋 船津23	人員 148名
平成14年7月1日	徳之島町救難所	高 岡 秀 規	鹿児島県大島郡徳之島町亀津7203	人員 62名

(注) 奄美市救難所各支所の上段の年月日は改組前のもの

16-15 奄美海上保安部が管理する航路標識の市町村別設置状況

資料：奄美海上保安部
期日：令和6年10月31日
単位：基

市町村別	灯	台	導	灯	指	向	灯	照	射	灯	計
(奄 美 大 島)		14		1					1		16
奄 美 市		6		1							7
大 和 村		1									1
宇 檢 村											
瀬 戸 内 町		6									6
龍 郷 町		1						1			2
(喜 界 島)		4									4
喜 界 町		4									4
(徳 之 島)		5		1							6
徳 之 島 町		2		1							3
天 城 町		2									2
伊 仙 町		1									1
(沖 永 良 部 島)		2		2			1				5
和 泊 町		1		2							3
知 名 町		1					1				2
(与 論 島)		2		1			1				4
与 論 町		2		1			1				4
合 計		27		5			2		1		35

(注) 奄美大島には、加計呂麻島、請島、与路島を含む。